

伝えたい 残したい

20世紀 のうしく

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2301

広報うしく第9号

(昭和33年12月15日発行)

掲載写真

第5回文化祭

▶右は農作物品評会、
左は素人演芸の様子



この写真は、昭和33年11月22～24日に開催された第5回文化祭の様子です。撮影当時の文化祭は、素人演芸、囲碁将棋、町民運動会、農産物品評会、児童生徒作品展覧会などが、毎年11月に昭和40年まで開催されていました。その後11年の中断を経て、昭和52年に牛久町文化祭として再スタートしました。



明治・大正・昭和の「昔のうしく」の写真を募集しています。

牛久の巨樹

問 都市計画課 ☎内線2522

東端穴町横田家のクスノキ(2本)



学園西大通りの東端穴交差点東側を道なりに約560m進んだ所が横田家です。広い屋敷の住宅の裏に2本のクスノキが並んでいます。2008年の測定では、写真の左側が幹周4・43m、樹高23・5m、

最大樹冠幅17・1m、写真の右側が同じく4・14m、25・6m、15・1mでした。2本の距離は2・5mです。クスノキは西日本では各地で巨樹に成長しており、日本の巨木ランキング10位までの9本がクスノキで、8本が九州地域にあります。樟脳が採れ、精油が材に60%、葉に30%含まれ、合成品が出るまではセルロイド・香料・防虫剤・医薬などに使われました。【資料提供】NPO法人うしく里山の会樹木リサーチ(文章：松本頼王・写真：戸塚昌宏)

「牛久の巨樹」P42～43掲載 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)

文芸さろん | 霜月 |

街散歩歌い竿ふり柿落とし
旅の宿友と語らう夜長かな
中着田紅く咲き誇る曼珠沙華
ブランドを軋ませている萩日和
ためになるエフエムラジオ楽しみだ
大いなる自然災害その力
人の考えおよびもつかず
月下美人の花の香に夜は堪能し
明くれば木犀の花の香に酔う

岡村さん
山崎さん
月田さん
塚本さん
小山さん
阿部さん
井上さん
匿名希望

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など
【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1
「広報うしく文芸さろん」係
FAX：873-2512
E-mail：shimin@city.ushiku.ibaraki.jp
【記載事項】作品、氏名、電話番号、匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)